

【所属名：環境生活課】

【会議名：第2回糸魚川市環境審議会】

## 会 議 録

作成日 令和2年1月9日

日	令和元年11月1日	時間	13:30~15:00	場所	市役所201・202会議室
件名	議題 第2次環境基本計画（素案）について（公開）				
出席者	【出席者】 11人 山縣 耕太郎（会長）、池亀 正文（副会長）、小野 清隆、齋藤 伸一、菅原 賢明 杉野 朝子、杉本 日出晴、田村 三樹夫、葉葺 久尚、安田 初恵、吉田 惣栄				
	【欠席者】 2人 石橋孝一、伊藤 健一				
傍聴者定員	【事務局】 環境生活課：高野課長、小竹係長、木嶋係長、川原主査 株式会社サンワコン：森 洋市、小町 亮介				
	傍聴者定員	— 人		傍聴者数	— 人

### 会議要旨

1 開会・あいさつ 進行 小竹係長

2 議事 進行 山縣会長

《主な質疑・意見》

#### ●高校生アンケート回答結果と分析について

【委員】 全体的に高校生は糸魚川の環境に良いイメージを抱いていることが喜ばしい。

【委員】 （高校生の環境への満足度が大人に比べて高い結果を受けて）高校生は現状の環境に対して満足としているが、大人はかつての環境と比較して評価しているため当結果になったと思うがどうか。

【事務局】 そのとおりだと思う。自然環境に関して大人は過去の豊かな自然と比較している、一方で高校生は現状を当たり前のこととして受け入れており、都会に比べると自然が豊かという点を評価したと思う。

【委員】 高校生は環境に対する意識が大人に比べて低い結果が見られたので、今後は高校生を含めた啓発活動等が必要だと感じた。

#### ●第2次糸魚川市環境基本計画素案について

【委員】 P.8 市内の二酸化炭素排出量の推移と将来予測について、糸魚川市の目標年度が来年度（令和2年度）になっているが、糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の見直しを行う予定なのか。

【事務局】 区域施策編は本計画に組み込む方針になっている。P.28 数値目標に示したように今後は目標年度令和12年度の国・県の目標（平成25年度比26.0%削減）を本計画の目標として作成している。

- 【委員】 現在作成している当計画のほかに実行計画は作成するのか。
- 【事務局】 実行計画は作成しない方針になっている。
- 【委員】 本計画が完成した後、市民にどのような形で伝えるのか。
- 【事務局】 パブリックコメントとして公表するほか、内容が多岐にわたるためダイジェスト版を作成し図書館や公民館に配付する形を考えている。
- 【委員】 本計画は糸魚川の環境にとって非常に重要であり、1人ひとりが考えるべきことであるため市民に伝える方法はしっかり考えていただきたい。
- 【事務局】 (パブリックコメントや図書館、公民館での公表に加え) ごみ分別説明会や農業者の集会等でそれぞれ関係する項目の説明を行うなど、市役所各課で調整しながら市民に伝えられるように取り組んでいきたい。
- 【委員】 P. 28 基本目標1の数値目標について、CO<sub>2</sub>排出量の目標年度は令和5年度になっているが、数値が令和12年度の削減目標値になっている。
- 【事務局】 CO<sub>2</sub>排出量の目標年度は令和12年度の誤り。P. 28～指標の設定の数値目標には令和5年度を見据えた目標とそれ以外が混在している状況。基本的には令和5年度までの数値目標を設定している。
- 【委員】 P. 8 CO<sub>2</sub>削減目標の表には削減目標が割合で表記されているが、グラフでは実数値で表記されている。どちらかに統一あるいは並記した方がわかりやすい。
- 【事務局】 割合と実数値が両方わかる形に修正していきたい。
- 【委員】 P. 28 森林の間伐面積の数値目標について、現状の値は2016年度単年の数値なのに対し、目標値は2013～2020年度の合計値を示している。比較にならないのではないかな。
- 【事務局】 森林の間伐面積の数値について、現状の値は単年度ではなく累計値を算出し、「2013～2016年の累計値」等の補足を示していきたい。
- 【委員】 グリーンインフラを活用した環境保全是良い方針なので、引き続き考えていただきたい。
- 【委員】 本計画の構成として、数値目標の根拠となる記述がないため、実現可能な数値目標なのかがわからない。現状の進捗状況とあわせて根拠等示していただけるとわかりやすくしてほしい。
- 【委員】 本計画に示された施策に取り組むにあたっての財政的な面も挙げるとよいと思った。
- 【事務局】 およそ5年先まで財政面の計算をしている。その中で優先度の高い施策から取り組んでいくように担当課に意識していただくことを考えている。
- 【委員】 P. 30 基本目標2の数値目標について、新規就農者数は環境関連の目標として設定していいのかな。
- 【事務局】 農地環境を保全していくには一定数の従事者が必要という意味合いで記載しているが、もう少し事務局で煮詰めてよりよい指標があれば記載していく。
- 【委員】 市の取組に対して協働のパートナーとして市民や事業者“○”が記載されているがどのような意味か。
- 【事務局】 協働のパートナーについては、“○”がついている項目は市民や事業者“協力”いただきながら取り組みを進めるという意味で記載させてもらっている。
- 【委員】 いくつかの項目で(“○”を付けるかどうかについて)疑問に感じるところがある。
- 【事務局】 それぞれ“○”を付けるかどうかは議論して決めた内容ですが、今一度このような

示し方でよいのか事務局で議論させてもらいたい。

**【委員】** P. 8 では令和 12 年度の CO<sub>2</sub>削減目標達成のためには現状の趨勢値からさらに 16.6 千-CO<sub>2</sub> t の削減が必要とあるが、P. 28, 29 の施策内容からはさらなる削減を実現するためにどのような施策が必要か見えてこない。

また、高校生アンケートではごみの問題等の身近な問題に関心が高かったことから、温暖化対策といった身近に感じ難い取組よりも、身近な問題に対して環境教育を通じ若い世代の関心を高めるような取り組みに重点を置いてほしい。

**【事務局】** 区域施策編に関する項目については、現状の記載内容では物足りないところもあるため、CO<sub>2</sub>削減目標達成のためにどのように取り組んでいくべきかといったところまで理解できるようにすることも必要と考えている。資料編を作成しているので、そこでご指摘の部分が理解できるようにしていきたい。

地球温暖化の項目にも環境教育についての記載を入れていこうと考えている。

**【委員】** P. 24 前計画からの見直し方針に記載される「体制強化」「体制の強化」はどのような意味か。

**【事務局】** 自然環境の体制強化については、在来生物の生息・生育環境の保全、良好な農村景観の保全の取り組みをより強化するといった意味で記載している。資源循環については、前計画では項目がなかったためこれから対応していかなければならないといった意味で記載している。生活環境については庁内連携の強化といった意味で記載している。

**【委員】** 内容の体裁はいくつか気になる点があるので精査願いたい。

**【委員】** P. 31 施策内容に記載される協働のパートナーについて、取組方針 8 の施策①は市民にも“○”をつけた方がよい。

**【事務局】** 内容を精査することと、協働のパートナーについては、いただいた提案の通り市民も追加する。

### 3 その他

次回審議会は 2 月頃を予定

### 4 閉会 池亀副会長